

- 職長はヘルタイ着用でリーダーシップの発揮を -



我々建設業にとっては
避けてはとおれない
「危険を伴う作業」

写真の作業も
過去に死亡事例もある
危険な作業ですが

見てお気づきのとおり
これでは災害と紙一重
の状況になっています

この作業の責任者は誰なのでしょう？ オペレーター？ 手前に立っている作業員？

このような危険を伴う作業を安全かつ円滑に行うためには、責任を持って指導するリーダー「職長」が、率先して危ない行動をとってしまっている作業員や手順と違う作業方法を行ってしまっている作業員をその場で指導しなければなりません。

しかし写真の状況では、職長がいるのかいないのか、誰が職長なのかわかりませんし、どちらかが職長だとしても、自覚を持って職長の責務を果たしてはいないのではないかと感じてしまいます。

「あのとき、職長が指導さえしていれば」と、後悔する災害を無くすためにも、当社では職長の所在を明確化するとともに、リーダーとしての自覚を促すために、「ヘルタイ」の着用を義務付け致します。災害防止の“要”として権限を持ち、活躍していただくことを願います。



新発田建設の安全ルール

§ . 現場へ入場する班のリーダーたる職長は、施工期間に関わらず「ヘルタイ着用」と致します。各職長用のヘルタイは現場に常備し、当社現場担当者より各社職長に貸与いたしますので着用のうえリーダーとしての率先垂範に努めてください。

施工が完了し、退場する際には現場担当者へご返却ください。

貸与についての費用は戴きません。